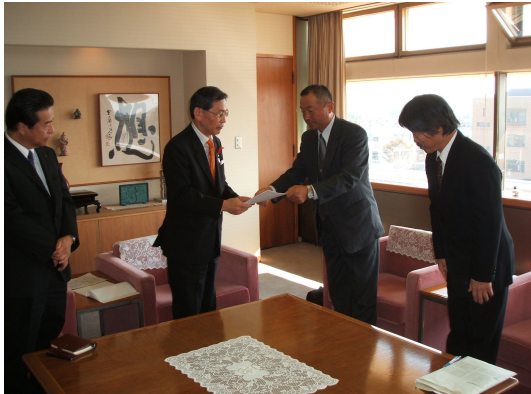


共産党議員団で原田市長に来年度予算要望書を提出 市制施行 5 周年に「非核平和都市宣言」制定を検討



10月30日市長応接室で要望書を手渡す

会派で市民の意見をもとにとりまとめた 22 年度袋井市予算への要望書を提出しました。市民生活に厳しさが増しており、保育・教育・福祉等へ重点を移した予算編成をお願いしました。職員のメンタルヘルス対策、病院問題、環境対策、待機児童対策などで意見交換を行いました。

原田市長からは、来年度の重点事項として保育園への待機児童解消、環境施策、市税等の収納対策、介護サービスの充実等を考えているとの話がありました。袋井市の来年度の財政の見通しでは、個人市民税 5% 減、法人市民税 5% 減など全体で 2 億 5 千万円 (1.7% 減) を見込み、扶助費 5% 増、公債費 10% 減、投資的経費は事業費ベースで 15 億円程度と 10 億円の削減をすとしてしています。

意義ある「非核平和都市宣言」に

袋井市は浅羽町と合併 5 周年となる来年度に市の鳥・花・木の選定をすすめています、それに合わせて都市宣言も実施する予定です。現在検討されているのは「日本一健康文化都市宣言」と「非核平和都市宣言」です。非核平和都市宣言は、我々がずっと要望してきたものです。原田市長はこれまで「市民の意識の成熟を待って」と答弁しておりましたが、ここに来て政権交代で民主党が非核 3 原則の法制化を公言、またオバマ米大統領がプラハで核兵器の

廃止を目指す演説、国連安保理の核兵器廃止を目指す宣言の採択など大きく世論が前進している状況を反映しての決断だと思われます。しかし、提案されている内容はあまりにも簡略で、市の責任・行動も何ら記載されておりません。真に意義ある宣言となるよう意見を上げていく必要があります。



「活憲の時代へ」伊藤千尋氏の講演会

11月3日、袋井憲法9条の会の主催で、朝日新聞記者など35年ジャーナリストとして活躍している伊藤千尋氏の講演会が開かれました。伊藤氏はこれまでに世界中(68カ国)を訪問、日本では世界の常識が非常識となっている「憲法9条」を取り巻く問題、平和憲法の意義を話されました。

31日は国民文化祭エコパの開会式、三川夢の里研究会、に参加。4日5日は議会運営委員会の視察で長野県上田市、北名古屋市を訪問します。

高橋よしひろの議会活動通信

2009年11月6日号

袋井市大谷245 TEL・FAX(48)6100

E-mail:wbs35910@mail.wbs.ne.jp

http://www.yoshihiro-takahashi.net

ブログ「美博の東奔西走」更新中!